

～第58号の主な内容～

- 〈1面〉社専の学生募集及び広報の状況、他
- 〈2・3面〉社専ソフィア会
- 〈4面〉教職協働・職員協働イノベーション研究
子育て支援、教員リレーコラム、他

社専だより

第58号 2017(平成29)年1月31日

編集・発行：上智社会福祉専門学校

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL 03(3238)3021

ホームページアドレス <http://www.sophia-sw.jp>



入試日程 (保育士科、介護福祉士科、社会福祉士・児童指導員科)

区分	学科	面談日	時間	登録書類・願書受付	結果/合否発送
一般入試	保育士科	2月25日(土)	10:30～	1月18日～2月17日	2017年2月28日
	介護福祉士科				
	社会福祉士・児童指導員科	3月7日(火)	18:30～	2月20日～3月1日	2017年3月8日

入試日程 (精神保健福祉士通信課程)

区分	学科	試験日	時間	願書受付	合否発送
一般入試	精神保健福祉士通信課程	3月4日(土)	午前組 午前10時～ 午後組 午後1時～	1月26日～2月21日	2017年3月7日

年明けも二〇一七年度学生募集を継続中

上智社会福祉専門学校の学生募集は昨年八月から実施されており、すでに大半の入試日程が終了しているところであります。本誌が発行されているところである二月から三月の入試日程

は、左に示したように保育士科、社会福祉士・児童指導員科、介護福祉士科は、二月と三月にそれぞれ一回ずつ入学試験が実施されます。精神保健福祉士通信課程は三月入試が予定されています。

ご関係の方々の中で、福祉専門職を目指して学校で学ぼうとされている方がおられましたら、入試情報をお伝えいただければ幸いです。

社専の広報活動の新たな展開

二〇一六年一月より、上智社会福祉専門学校の公式なLINEのアカウントができました。学校から学外の方々にむけて、主要な情報を発信していくために作られたものです。もちろん、卒業生の方々には「お友達」になってもらい、社専のイベント情報などを知ってもらえれば幸いです。現在、各学科のトピックなどを徐々に発信していけるように、記事の充実を準備中です。また、ホームページについても、スマートフォン版が新たに登場しています。スマートフォンでホームページにアクセスした人は、自動的にスマートフォン版を見ることができ、ホームページ自体も内容が充実してきておりますので、今後ともチェックしてみてください。

東京ソーシャルフェスが開催されました。



ソフィアタワーは4月から供用開始

二〇一六年一月二三日、上智大学四谷キャンパスにて、広く都民(特に高校生・大学生)に、介護・障害・保育等、福祉の仕事に親しみを持っていただくため、東京都と上智大学・上智社会福祉専門学校が共催で、「TOKYO SOCIAL FES 2016」福祉の学園祭を開催しました。

福祉に関心のある人ならば気軽に來れて福祉のことが一日でわかる学園祭というイメージです。当日は、社会福祉専門学校が体育館に設置され、保育士科や社会福祉士

新任職員紹介



加藤 康子
社専で勤務して三ヶ月が経ちました。やっと先生と学生の

卒業生の皆様へ

進路支援センター 高橋 秀子

上智社会福祉専門学校を巣立ちそれぞれの方々が、社会に貢献されている事と存じます。皆さまが卒業されてからも多くの先輩が同じ学び舎で志を高く持ち日々勉学に励んでおります。

今回二回目の保育士科、介護福祉士科、社会福祉士・児童指導員科の三科で平成二十八年年度の卒業レポート発表会を行う予定です。以前は、それぞれの科で卒業レポートを発表していただきましたが卒業生と在校生、また科を超えて交流ができればと思います。このような発表形態をとっております。卒業生の皆さまが年に一回のホームカミングデーとなり、旧友や在校生との親睦を深めている場になれば良いと考えております。皆さまのご参加をお待ちしております。

詳細は以下の通りとなります。(予定)

顔と名前が分かっていたところから学校へきます。仕事と学業の両立、さらに家庭を持ちながら、寝る間も惜しみ勉強しています。勉学に熱心な学生さんたちに少しでもお役に立てればと思います。どうぞよろしくおねがい致します。

月日 日二十九年二月二五日(土曜日)
時間 十三時～高山校長挨拶
十三時五分～卒業レポート大賞(各科発表 質疑応答各各一分)
十四時～(分科会)
一・二号館一〇二教室(全体会)

場所 全体会終了後各分科会開始
一・二号館二〇一教室
二〇二教室 二〇三教室(社会福祉士・児童指導員科)
一・二号館三〇一教室
三〇二教室(保育士科)

寺田(社会福祉士・児童指導員科)
加藤(介護福祉士科)
樋口(保育士科)

会場が変更になった場合でも当日正門から掲示を致しますので、その案内に沿ってお越しください。

社専ソフィア会

事務局 TEL&FAX : 03 - 3238 - 3027
E-mai : syasensophiakai@honey.ocn.ne.jp

上智社会福祉専門学 校ソフィア会 二〇一五年度活動報告 (二〇一六年度総会承認)

一 総会の開催
日時：二〇一五年九月二十七日
日(日) 午前十時三十分～
十二時
場所：上智大学十二号館
五〇二室
決議事項：二〇一四年度活動・
会計決算報告、二〇一五年
度活動計画・予算案
講演会
講師：栗林知絵子さん(NP
O法人豊島子どもWAKUW
AKUネットワーク理事長)
テーマ：子供の貧困を考える
く未来を変えていく地域の
ネットワークづくり

二 上智大学 SOPHIA 未
来募金への協力
○ 本会からの募金額五万円。
使途指定「社専の研究紀要作
成」「社専の実習室・実習用品
の充実」
(募金を必要査読者への謝礼
に充当し、社専研究紀要第
十一号が発行された。実習室
関係は、介護福祉士科で口腔
ケア用品および、災害介護実
習で使用する非常食の購入に
充てられた)
○ 募金趣意書・募金ニュース
等発送の支援(会員情報デー
タ提供、発送費用の一部負担)

三 役員会の開催
(場所：いずれも上智社会福祉
専門学校会議室)
① 日時：五月二十三日(土)
十八時三十分～
出席者：七名
議題：二〇一五年度総会につ
いて
② 日時：七月二十五日(土)
十八時三十分～
出席者：七名
議題：二〇一五年度総会につ
いて
ホームページについて
保育士科学生募集チラシの配
布について
社専だよりについて
③ 日時：九月二十七日(土)
九時三十分～
出席者：六名
議題：総会議案について

四 クラス会等サポート事業
ー 利用状況ー
① 第三十六期生社会福祉
士・児童指導員科クラス会
(二〇一五年七月)
② 第三十一期生保母科クラス
会(二〇一五年七月)

五 社専ソフィア会ホーム
ページの維持・管理
○ 二〇一六年三月にホーム
ページをリニューアルした
(作業は社専事務センターに
依頼)

六 社専だより紙面作製と費
用負担
○ 第五十五、五十六号に総会
報告、クラス会等サポート事
業利用報告、社専アーカイブ
ス等を掲載した。作製・発送
費用を一部負担した

④ 日時：十二月十九日(土)
十八時四十分～
出席者：七名
議題：総会の反省
社専だよりについて
SOPHIA 未来募金について
卒レポ発表会について
⑤ 日時：二〇一六年三月
二十六日(土) 十八時四十五
分～
出席者：七名
議題：二〇一六年度の事業に
ついて

⑥ 前年度までと同様に、会員
への周知活動を行う
③ 総会参加者に向けて募金の
呼びかけを行う

二〇一六年度活動計画
(同前)

2016 年度総会が開催されました
日時：10月1日(土) 13時30分～15時30分
場所：上智大学12号館 502室
議事：2015年度活動・会計決算報告、2016年度活動
計画・予算案 他
講演会：講師 Sr. 富田美智子さん
(第1期生、児童養護施設「八代ナザレ園」園長)
テーマ「八代ナザレ園創立116年の歴史と今日
的な新たな児童福祉の在り方」
※今年度の総会は「上智レンコンミーティング2016」と
同日・同会場で開催しました。(レンコンミーティ
ングについては4面参照) また、会場で SOPHIA 未来
募金の呼びかけを行い、募金額は 11,107 円でした



一 総会の開催
日時：二〇一六年十月一日
(土) 午後一時三十分～三
時三十分
場所：上智大学十二号館
五〇二室(上智レンコンミ
ーティング二〇一六と同日開催)
内容：二〇一六年度総会
Sr. 富田美智子さん講演会

二 上智大学 SOPHIA 未
来募金への協力
① 本会から金五万円を募金す
る。使途指定：社専研究紀要
作成二万円、実習施設・実習
用品の充実二万円
② 前年度までと同様に、会員

三 卒業後五十年の会員に対
し、祝状(カード)を贈呈
次年度以降も継続する
四 クラス会等サポート事業
(二〇一六年度からの継続)
五 社専ソフィア会ホーム
ページの維持・管理
(二〇一六年度からの継続)
六 社専だより紙面作成の分
担、印刷・郵送の費用負担
七 会員情報の維持・管理

クラス会等サポート事業ご利用報告

第三十一期生 介護福祉士科 クラス会 日時：二〇一六年十一月十二日(土) 十四時、場所：東京・銀座

去る十一月十二日(土)、介護福祉士科二期生でクラス会を行いました。幹事の対談形式で報告いたします。

R「銀座の三笠会館四階『揚州名菜・秦淮春』に元学生九名、吉田博子先生、三浦虎彦先生がご出席下さいました。」

T「卒業して間もなく二十年、悲願のクラス会が実現できて感無量です。Rさんは？」 R「毎年やろうという話しは出ていたんだけどあつという間に二十年！今回ははるばる北海道からKさんが参加してくれ嬉しかった。」

T「近況を一言ずつ話しましたが、管理者の立場でご活躍の方も多く、Rさんもホーム長ですし。」

R「職種は違っても学生当時の熱い思いを失わず活躍しているのが伝わってきたね。」

T「吉田先生の変わらない優しい語りになるっ



とききました。」

R「三浦先生も万年青年という感じで若々しく。ところでTさん、無事に帰宅したの？」 T「・・・。二次会はどこに行っただけでしたっけ？」

R「日比谷バーですよ。Tさん、かなり酔ってましたね。」

T「皆さんに大変御迷惑おかけしました。あの日以来断酒しています。」

R「次回のクラス会は三浦先生の還暦祝いの時に集まることにしようか。」

T「いいですね！赤いチャンションコを着てもらいましょう。」

(終) 幹事 荒井隆太 (R) 東川孝子 (T)

会費納入のお願い

社専ソフィア会は、皆様からお支払いいただく会費によって運営されています。一九九四年の再建総会後から年会費納入をお願いしてきましたが、毎年お支払いいただいていた方々が、この何年かで終身会員の資格を得ていますので、そのためもあり、近年は会費収入の減少傾向がみられます。会費納入が滞っている方、今まで一度も会費を払っていない方へ、滞納分をまとめて請求することはいまありませんので、まず今年度分のお支払いをお願いします。

会費年額：2,000円
口座番号：00150-3-30569
加入者名：上智社会福祉専門学校ソフィア会

郵便局に備付の振替用紙で、下記の口座宛にお支払いください。

「社専だより」の郵送について

先般から「社専だより」の電子データ化と、それに伴う郵送費節減のご協力依頼が掲載され、それに対し多数の方からご協力(郵送辞退)のお申し出をいただきました。しかし現在、社専では「社専だより」を単独で郵送するための予算が確保できず、「社専ソ

フィア会総会のお知らせ」や「募金ニュース」に同封でお送りしています。その際、郵送辞退された方に「社専だより」を送らないようにすると、「同封しない」ための作業の手間が余分にかかり、郵送費も割高になります。従って当面は、今まで通り「社専だより」も全員の方に お送りしますので、ご理解の上、ご了承いただけますよう、お願いいたします。

クラス会等サポート事業のご利用について

社専ソフィア会のホームページから、説明書と申込用紙をダウンロードできます。HPからの入手が困難な場合は、ファクスや郵便でお送りすることもできますので、社専ソフィア会事務局宛にお申し込みください。

役員募集のお知らせ

社専ソフィア会では、役員としての会の運営に協力していただける方を募集しています。自薦、他薦を問いませんので事務局までご連絡ください。役員の任期は二年間(再任可)です。また、役員会等に出席された場合は交通費を、会員情報データのメンテナンス等を担当していただいた場合は、所定の委託費をお支払いいたします。

上智社会福祉専門学校ソフィア会 2015年度会計決算報告 (単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 金額, 備考, 収入. Rows include 会費収入, DVD送料・手数料, 雑収入, 前年度繰越, 合計.

2016年度予算書 (単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 金額, 備考, 収入. Rows include 前年度繰越, 会費収入, 合計.

Table with 4 columns: 科目, 金額, 備考, 支出. Rows include 総会費, クラス会等サポート事業, 会議費, 印刷費, 事務消耗品, 郵送通信費, 委託費, 寄付金, 支出合計, 次年度繰越, 合計.

Table with 4 columns: 科目, 金額, 備考, 支出. Rows include 総会費, SOPHIA 未来募金, クラス会等サポート事業, 印刷費, 委託費, 会議費, 郵送通信費, 事務消耗品, 予備費, 次年度繰越, 合計.

教員リレーコラム ⑥

社専の歴史とこれからの50年



介護福祉士科長 堀米史一

陳先生からバトンを託されコラムを書かせていただきました。思い出ですと二〇〇七年度から非常勤として社専に勤務をしてから、早一〇年が経過としていて、時の流れの速さに改めて驚いておられます。しかし、この一〇年を振り返りますと、結婚や第一子・第二子の誕生など家族構成も変わり人生の中で最も思い出に残る時間だったのだと感じます。

上智社会福祉専門学校も二〇一二年に創立五〇周年、上智大学は創立一〇〇周年、上智大学短期大学部は創立四〇周年を迎えました。実習巡回で施設に行くと、私が着任する以前の卒業生からも声をかけていただくことも増え、最近では施設の懇談会に参加した際に「社専の卒業生なんです。もう〇〇年前の保母科なんです

が」とおっしゃる卒業生や「今はなき主事科卒業なんです」という卒業生とお会いする機会もあり、色々な実践現場で活躍されている姿を拝見して社専がこれまで人材の輩出を通して社会福祉に貢献してきた役割を実感いたしました。またある特養では入職四年目の卒業生が主任に昇進したという話もきくことができて卒業生の活躍をとてもうれしく思っています。

二〇一三年の記念講演ではこれまでの五〇年の社専の歴史について振り返り、そして今後五〇年についても考える機会となりました。上智社会福祉専門学校が一〇〇周年を迎えるとき、日本の社会福祉の状況はどうなっているのか、また私は何をしているのか、そんなことを考えながら一日一日を大切に、一歩一歩前進していきたいと考えております。これからも学校行事や授業・実習を通して在校生と卒業生が関われる機会を持ち、社専の輪を広げていければと思います。ぜひみなさんもお参加ください。今年も一年どうぞよろしくお願いいたします。

二〇一六年度教職協働・職員協働イノベーション研究「上智レンコンプロジェクト」が実施されました。

昨年の五月から一〇月にかけて、上智学院の教職協働・職員協働イノベーション研究の一環として、学生が地域の活動に参加する協働型学習の試みが行われました。実際に学生を受け入れてくれた地域の協力団体は二二団体にのぼり、この中には住民のサークルもあればNPO法人や社会福祉法人、専門職の職能団体もありました。それぞれが活動を展開してきた集大成として、一〇月一日(土)には、

四谷キャンパスで「レンコンミレーティング二〇一六」が開催され、一二号館全体を使って、それまでにご協力いただき

保育学生による地域子育て支援プロジェクトの取り組みと課題

いた住民や専門職の人たちと学生が交流しました。また、社専ソフィア会の総会・講演会が同会場で開催されたため、八代ナザレ園の富田美智子シスター(第一期生)をはじめ、同窓会の方々と合流する場面も生まれました。この企画は、二〇一七年度も継続して実施されます。卒業生のみならず、是非ともご一緒にしましょう。以下に、子育て支援に関する保育士科学生の文章を掲載します。(三浦)

上智社会福祉専門学校 保育士科二年 下野隆征

本校の特徴は夜間の保育士養成校であるため学生の顔ぶ

れは一〇代から五〇代までの男女(外国人を含む)で構成され幅広い。ほとんどの学生が日中働いており仕事が終わったら急いで学校に駆けつけるといふ者もいる。本校学生および他の保育士養成校の学生有志らが主体となって企画・立案した子育て支援を昨年一〇月からはじめて一年になるが今回が六回目である。これまで地域の子ども、保護者を対象に歌、英語での手遊びや紙芝居、ペープサート、パネルシアター、手品、工作、スタンプ制作、エッグハント、上智大学教授による講演を実施した。

今回新たな試みとして、福祉専門職を目指す学生と地域住民との連携による交流企画「上智レンコンプロジェクト」に参加した。世代間交流によ

る子育て支援という試みで、ウエルカムコンサートには世田谷生涯福祉大学OBの方々からなる音楽サークル「Will Be」にウクレレを中心とした歌と演奏を依頼し、本校の学生数名がウクレレ演奏に共演させていただいた。「Well Be」のメンバーの方々は高齢ではあったが、お揃いのTシャツに身を固め子どもが知っている曲の演奏と振り付けを披露していただいたので会場が徐々に和やかな雰囲気につつまれていった。

次に上智大学のマスコットキャラクター「ソフィアくん」が登場すると会場から「ワー」という驚きの声があがった。背は低いが丸みのある体と愛嬌のある顔立ちなので近寄って握手をしたり頬つべたを体にすり寄せる子どももいた。

つづいてフランス人学生を中心とした英語の手遊び「ten little fingers」「Energy Weeny spidern」と通称「マジックおじさん」(学生)によるマジックショーを組み合わせて披露した。英語での手遊びは上智らしさを出すねらいがあった。自分たちで作った魔法のマンントを羽織った学生一〇人が「マジックおじさん」の「Trick or Treat」の合言葉とともに登場し会場の来場者と一緒に「ten little fingers」の手遊びを行った。マジックの内容はただ単におもしろいマジックを見せるのではなく、子育て支援のテーマに合わせこの後の演目の導入になるようなものを考え、子どもたちの自主性を引き出す

ことを心がけた。具体的には今回ハロウィンがテーマであり工作でマンントなどを作った後に子どもたちにお菓子を配る予定だった。よってこのあと子ども達も自分でマンントを作りたいう気持ちをももらいたいたいう気持ちになってもらいたかった。そこで、最初相手役の学生がマンントをつけないでおまじないをかけてもお菓子は出なかったが、マンントをつけておまじないをかけてお菓子が帽子からお菓子が出てくるというマジックを行った。

最後に上智大学吉田先生による英語の講演があった。吉田先生のお話で一番印象に残ったことは英語を教える方であった。自分自身でギターを弾きながら英語の歌をみんなでも歌い覚えていく方法だった。実際に会場では見事な演奏と英語の歌声を披露してくださった。保護者が吉田先生の講演を聞いている間、学生が子供たちを後方にある工作コーナーに誘導した。

生演奏は子どもにも音楽の楽しさを伝えるだけでなく、大人も楽しみなが癒されていくということに気づかされた。さまざまな理由から社会的に育児不安がクローズアップされているなかで、育児に疲れている親は少なくないと思われている。子育て支援に来ていただいた保護者の心が休まる時間があることは意義のあることである。また「Well Be」の方々は演奏が終わった後は控室で次の出番までじっと待っていたのだが、次の登場場までまだ時間があつたので来れる方は子どもたちの工作

コーナーに来ていただくようにお誘いすればよかったと思つた。子どもが親以外の大人と交流することは子どもの発達にも良いことだし、保護者も社会経験のある先輩と交流を持つことは自身の成長につながるであろう。今後機会があれば提案したいと思つている。

手遊びやマジックは参加者から「大人でも笑えた」という感想をいただいた。演目を作る時はどうやって子どもたちを楽しませようかということとは考えたが大人たちのことは頭になかったので意外だった。これは保護者支援の重要性を再認識するとともに、今後の子育て支援活動のヒントにもなった。子育て支援というだけでなく子どももこのかわりに目がいくが、保護者支援という役割があることも忘れてはならない。



(写真は協力団体の一つである音楽サークル「Will Be」のみなさんの演奏風景)